仕候ハヽ其時々乾度御届可仕候

年　月　日

東京府知事何某殿

右　何　某　印

（括弧ノ分ハ朱書ノ事）

○甲第二十六號

徴兵事務條例第一書式ニ依リ診斷書ヲ差出ス場合ニ於テハ病院長ニ代ルニ内務省ノ醫術開業免許ヲ得タル者ニ限リ署名調印ヲ受クヘシ此旨布達候事

明治十五年三月十六日　東京府知事松田道之

○東京鎭臺達

本年豫備軍復習之義靴下給與期限内ニ相懸リ候得共僅ノ日數ニ付昨年同樣步兵ヘハ給與不致乘馬兵ニ限リ復習中一足宛支給候義ト御承知有之度爲御心得此段申入候也

明治十五年三月十六日　陸軍步兵大佐岡澤精

敍任賞勳

○三月十六日分

任判事　正六位　中島盛有

任檢事　松本紫彥

○十四年二月五日分

敍勳八等賜白色桐葉章　陸軍教導團生徒　山口接隣

敍勳七等賜金百圓　陸軍步兵曹長　藤井虎雄

同　同　久野茂直

同　陸軍步兵軍曹　岡村傳藏

同　陸軍步兵伍長　淸水知遠

公判

○東京控訴裁判所宣告

原告　埼玉縣下武藏國南埼玉郡上間久里村第拾六番地平民吉岡多藏外三十二名代兼同村五十八番地平民　小倉善右衛門

被告　全縣全國全郡全村上原周藏外七名惣代兼全村六十六番地平民　上原五兵左衛門

被告　全村六十四番地平民　森留安左衛門

枠樋拒障之詞訟熊谷裁判所浦和支廳ノ裁判不服ノ控訴審判スル左ノ如シ

本訴枠樋ノ取拂ヘヲ申付タル者ハ縣廳ナレハ縣廳カ許諾セザル限リハ原告ニ於テ起訴ノ目的即チ此枠樋ヲシテ据置カシムコトヲ得ス然ルニ原告ハ縣官本村ニ臨ミ實地ヲ視察シ他圖ヲ上ラシメ有益無害ヲ認メ据置キノ示談ヲ説諭セラレシト云々縣廳カ偏ニ被告等ノ請願ヲ抑止スルヲ可トセザルヨリ止ムヲ得ズ其取拂ヲ申付タル者ノ如ク果シテ陳述ノ如ク説諭セラレシヤ否之ヲ縣廳ヘ諮問スルニ縣廳ニ於テハ之ニ反シテ（舊村吏刑事上ノ所分ヲ受ケ候後甲ハ存在ヲ主張シ乙ハ取毀ヲ要請シ紛議百出喋々スルヲ以テ主務ノ屬官派遣一應實地點檢爲致候處該堰タル設立スルモ差支ナキ歟是等ハ灌漑ノ季節ニ臨ミ現場ニ於テ篤ト試驗ノ上ナラデハ一朝ニシテ利害得失ヲ確認致シ難ク候ニ付目下存在ノ閘枠ハ官ノ許可ヲ得ス擅リニ設立シ加ルニ取拂ヲ肯セサルヲ以テ當時ノ村吏刑事上違式ノ所分ヲ受ケタル程ノ義ニ付一旦取拂原被熟和致シ利害得失相考設立ノ事ニ相決シ候ハヽ順序ヲ經テ出願可致旨懇諭致候）トノ回答アリ然ラハ則チ縣廳ハ唯其許可ヲ得ス私擅ニ設立スル一點ニ就テ之カ取拂ヲ申付タル事ヲ認知セラルヽノミナラス被告カ故障ノ有無ニ由リ縣廳ニ於テ之ヲ許否スル譯合ナケレハ今ヤ原告ニ於テ被告ノ故障ヲ除却セシメ其儘閘ヲ据置ントスルハ豈ニ敢テ其目的ヲ誤ル者ト云ハサルヲ得ンヤ況ンヤ法律ノ保護ヲ得テ其故障ヲ排除セントスルモ法律ハ該擧ヲ認メテ不正ト爲シ既ニ其取拂ヲ肯セサル村吏ニ對シ罰金ヲ言渡シタル程ノ仕合ナレハ法律カ保護ス可キ筋合ナキニオイテヲヤ

判決

右ノ筋合ナルヲ以テ原告ノ訴意相立サルコトハ始審裁判所判決ノ通リ心得可ク且ツ訴訟入費ハ原告ニ於テ辨償ス可キ事

明治十五年三月十五日　東京控訴裁判所　判事　岡村[illegible]彥　全　寺島直　全　倉町長[illegible]

○豫審終結言渡

東京京橋區新地町一丁目二番地　平民　鈴木七之助

同人方止宿千葉縣　平民　神子いと

右者官署ニ對シ氏名ヲ詐稱シタリトノ被告事件豫審ヲ遂ル處明治十五年二月十六日七之助方同居岡部さいガ娼妓出稼與印鑑ヲ京橋區役所ヘ差出ス筈本人病氣ナルヲ以テ代人トシテいとカ出頭シタル處本人ナルヤ否尋問ヲ受ケ代人ナリト申立ル詐陳誤シテ故意ヲ以テ戸籍身分氏名年齡職業ヲ詐稱シタリトノ證憑不充分ナルヲ以テ治罪法第二百二十四條ニ依リ免訴スルモノ也

明治十五年三月十三日　東京輕罪裁判所豫審掛　判事補　三浦精明　書記　山本昌則

時事新報

地方ノ些事

政府ノ恃テ一國ヲ統治スル所以ノモノハ憲法律令ニ非ザルナリ常備軍ニ非ザルナリ軍艦砲臺ニ非ザルナリ巡査憲兵ニ非ザルナリ金銀貨幣ニ非ザルナリ唯人衆ノ心ヲ得テ之ト歸嚮ヲ同フスレハ危亡モ轉シテ安寧ノ世ト爲ス可キナリ擾亂モ定テ秩序アルノ國トナル可キナリ若シ不幸ニシテ政府其恃ム可ラザルヲ恃テ一度人衆ノ歸嚮ヲ失ヒ之ヲ維持スルノ策ヲ誤テハ潰亂崩決底止スル所ヲ知ラサルニ至リ國ノ安寧秩序ヲ保持ス可キ憲法律令モ施スニ處ナク海陸軍モ其用ヲ爲サス巡査憲兵ハ人ヲ煩ハスノ具トナリ金銀貨幣ハ人ヲ虐スルノ種トナリ政府ハ衆怨ノ歸スル所トナリテ睽離孤立敵讎ノ他ニ待ツ可キモノナキニ至リ何ヲカ恃テ一國ノ人衆ヲ統治センヤ人文未タ明カナラス法律未タ詳カナラス君主天下ヲ私有視スルノ昔日ニ在テ尚且ツ衆心ヲ得ザレハ政ヲ國内ニ施ス可ラザルヲ知ルニ非ズヤ和漢ノ先哲、奏議論説幾千万篇其旨趣ヲ尋ヌルトキハ悉ク政府ニ説クニ衆心ヲ得ルノ緊要ヲ言ハザルハ無シ而ルヲ況ンヤ今後十年ヲ期シテ國會ヲ開設スルノ大詔既ニ降ルノ今日ニ在テ衆心ノ歸嚮ニ頼ズシテ又何モノヲカ恃テ此國ヲ統治センヤ故ニ我政府ハ衆心ノ歸嚮スル所ニ從テ漸クニ其歩ヲ進メ專ラ國會開設ノ準備ヲ爲シ以テ衆心ノ歸嚮ト相離レザルヲ勉ルモノナリ

諺ニ云ヘルコトアリ本基一寸ノ差以テ顛末一尺ヲ違フト蓋シ人事齟齬スルノ常態ヲ表シタルモノナラン我政府ハ近來民間ニ往々自由論ヲ唱ル者アルヲ見テ悦ハズ其或ハ嗟々止マル所ヲ知ラス、經世ニ貴重ナル秩序安寧ヲ損害セラレンコトヲ憂慮シタル歟地方長次官ニ内諭スル所ノモノアリシトノコトハ昨年ノ末專ラ諸新紙ニ傳フル所ナリシガ果シテ其餘響ナルニヤ頃日某地方ニ在テ縣吏ヲ沙汰スルニ當テ曰ク何ノ某ハ某地ノ産ナリ某地ハ自由黨ノ一巢窟ナリ何ノ某ハ必ス此黨衆ト相知ル者アラン必ス此黨衆ト嘗テ相交リタルコトナラン須ラク訊問シテ之ヲ黜ク可シト而シテ某人ノ俸給ヲ問ヘハ二十圓ナリ其職ヲ問ヘハ刀筆ノ吏ナリ又何ノ某ハ某社ノ社員ナリ某社ハ民權ヲ唱フル者頗ル多シト聞ク是レ疑フ可シ何ノ某ハ交際ノ廣キモノナリ某交友中必ス民權論者ヲ容ルヽナラン此亦怪シム可シト恰モ蛇蝎ノ室内ニ蟠蜿シテ之ヲ驅除スルニ關シキモノヽ如ク朝ニ二人ヲ逐ヒ夕ニ三人ヲ黜リ累日之ヲ搜索シテ子遺ナキニ至ラシメントスルノ狀ナリト嗚呼民權果シテ何ノ咎カアル我帝室ヲ率敬シテ政治ノ改良ヲ冀フノ趣旨ナル耳、嗚呼自由何ノ罪カアル法令ノ下ニ立テ權理ノ伸暢ヲ欲スルノ主義ナル耳、然ルニ是等ノ趣旨ヲ説テ是等ノ主義ヲ知ルノ人ト相知ルガ爲メニ其官ヲ黜ケラレ之ト鄕ヲ同フスルガ爲メニ其職ヲ奪ハル、官ヲ黜ケ職ヲ奪フハ人ヲ罰スルノ事ナリ苟モ其罪ナクンハ人ヲ罰ス可ラス今夫官ニ在ルノ人ニシテ在野政黨ノ團結ニ加ヘルハ政府ノ許サヽル所ナラント雖モ汝ガ交友中ニハ政黨ノ人アルナラン汝ガ同鄕中ニハ政黨ノ人アルナラント其官ノ尊卑ヲ問ハズ其職ノ輕重ニ拘ハラズ悉ク之ヲ譴責スルコトアラハ國中ヲ偏フシテ何人カ其罪ヲ免ル可キヤ或ハ譴責ヲ加フル其人ニ在テモ尚且交友鄕黨中ニハ政黨ニ加入セルノ人アル可シ況ンヤ政黨ナラサルノ會社ニ加ハルヲ以テ黜罰ヲ受ルノ冤ニ於テヲヤ彼ヨリ我ヲ蛇蝎視スレハ我亦彼ヲ虎狼視シ互ニ相猜疑スルニ至レハ何ノ日カ國ノ安寧秩序ヲ期ス可ケン宜ク其[illegible]ルヽ、廟ノ官吏ハ畏懼シテ惰悟ノ念ヲ生ス可キ歟將タ憤怨鬱勃去テ不平ノ徒タラン歟知者ヲ待タスシテ其向背ヲ知ル可キ[illegible]又獨リ其關發ノ人ノミナラス之ト相知リ相交ル者之ヲ聞テ皆望ヲ政府ニ絶ツヘキナリ忠良ノ民ヲ驅テ暴徒ノ途ニ迷ハシムルハ我政府ノ屑シトセサル所ナラン[illegible]保ツト雖モ政府ノ大、或ハ地方官ノ事項ヲ知ルニ及ハス遂ニ斯ノ如キ不幸ノ人ヲシテ其歸嚮ヲ失ハシムルニ至ル可キハ未タ其必無ヲ保ツ能ハス[illegible]

上文所述ノ事項ハ一地方ノ些事ノミ政府固ヨリ之ヲ知ルニ及ハス[illegible]政府ノ之ヲ[illegible]カラス其地方ノ長次官モ恐ラクハ之ヲ知ラサル所ナラン二三ノ屬吏[illegible]ヲ巧ニシ言ヲ飾リ長次官ノ意ヲ迎ヘ自ラ以爲ラク此等ノ人ヲ驅除スルハ政府ノ意ヲ[illegible]所以ナリト[illegible]尺ノ矯正ヲ加ヘタルモノナリ[illegible]之ヲ以テ各地ヲ概ス

ルニ非ズ唯政府ニ向テ本基ニ寸ノ矯正ニ謎ム所アランコトヲ欲スル者ナリ政府ハ衆心ヲ得ルニ勉メザル可ラズ地方ノ長次官ハ政府ニ代テ衆心ヲ維クノ勞ヲ憚ル可ラズ故去テ我ヲ棄ルモ我猶追テ之ヲ留ルモノハ是レ[illegible]上ゾ必ナリ而ルヲ況ンヤ彼未ダ去ラザルニ我拒[illegible]我政府ニ代テ地方民衆ニ直接スル長次官ノ[illegible]所ナランヤ故ニ余輩ハ上文ノ[illegible]ニ出デ萬々其實ナキヲ保ツモノナリ[illegible]ヲ抹殺スルコト能ハザルモノハ若シ不[illegible]府四十一縣中、上既ニ記スルガ如キ逢迎ノ骨ヲ出シテ長次官ノ之ニ吾容ヲ假スアラバ政府ハ罷ト共ニカ其實國安寧ヲ圖ランヤ嗚呼政府ノ爲ノ又地方人衆ノ爲ヲ買フモノハ逢迎ノ胥吏ナル哉

雜報

○[illegible]上よりは來る二十八日習志野[illegible]演習よ[illegible]もありたれども御都合よ由り[illegible]らせらるゝやに聞及べり

○[illegible]川宮[illegible]宮ゑは朝鮮國皇帝即位の大禮を賀せんが爲め同國へ御渡航あらせらるゝ筈なりしに何か御都合にて御見合となり北白河宮伏見兩宮の中にて御渡航あらせらるゝやの風説あり

○大迫靜岡縣令　同君よりは御用筋にて去る十三日出京されたるを

○[illegible]埼玉縣令　同君には昨年來病氣よて引籠り居[illegible]一昨十五日[illegible]せられ[illegible]去る八日御用濟よて歸縣

○[illegible]文部大書記官　同君よりは學校巡視のため本月下旬出發先づ東京府下の諸學校を巡視して靜岡縣下へ赴かるゝ由尤も此度は從前の巡視と異り公立學校は勿論私立學校とも一々巡視せらるゝといふ

○同[illegible]は是迄諸縣の官報其外とも新聞[illegible]されざりしが爾來は各新聞紙[illegible]なき[illegible]と公然購求して若[illegible]第二號より夫々へ達せられた[illegible]以來同省も殊の外の[illegible]を興ふるよ付書記十名を更[illegible]の[illegible]おり[illegible]一昨十五日[illegible]おりしより[illegible]

○陸軍刑法質問會　教導團よて之今後毎水曜日よ同團所の各將校が陸軍刑法の質問會を開くるゝよし

○貯金利子の改正　今度驛遞局よ於て貯金預二十圓以下は五分二十圓以上は一割の利子を附せるとに改正さるゝ由にく此程既に内決されたるよし

○内外共同大射的會　本會は猶來る十九日青山射的場よて施行あるが皇族大臣參議陸海軍諸將校警視官華族各國公使其他有志の内外人相會して射撃を試み陸軍々樂を奏し衆庶の縱覽をも許さるゝよし

○射的會賞品　來る十九日青山射的場に於て催さるゝ内外共同大射的會の賞品は（隨意競點）第一等は下賜品第二等は金側時計第三錦一[illegible]第四象眼入赤銅花瓶一對第五蒔繪三ッ組提重第六藍縮緬一疋第七[illegible]用具三個の内第八紫檀唐机第九姿見一面第十八丈縞一反此餘第四十五等迄賞品あり又（ゲ斗競點）も第一等より卅五等迄賞品を賜ふとり（黒點）は以一廿ゞに分ち夫々賞品を賜はるよし猶委しくは當日該場入口へ掲示せらるゝといふ

○日本橋改架　今度架替よなる日本橋は鐵橋よて從前よりも大よ橋巾を廣め其費額は概そ一万三千圓の豫算なりといふ

○グリセリン　印刷局刷版部の凸版科に於て此頃肉桂の膠中よ含蓄せるグリセリンを取る事を試驗されしに舶來品に劣らさる純粹の品を製出したりし由

○上野共進會縱覽時間　同會縱覽時間は是迄午前八時より午後五時迄の處明十八日より午後五時三十分まで入場を差許さるゝ旨同會事務所より達せられたり

○新聞社員扣所　昨日の紙上よ取敢えず太政官よて各新聞社員へ詰所を賜り官中へ一切出入を禁じられし由を記載せしが其扣所は中々立派よて絨氈を敷詰め椅子卓机筆硯等迄を賜はりまた實よ殊外の御取扱と社員が歸社しての話し

○詐僞告訴　下谷練塀町五十番地石内幸平は淺草寺地中觀智院所有の貸家よ住居する宮本由次郎と謀り兼て華族戸澤家へ出入する縁故を以て戸澤正實君が神田區錦町の學習院より歸邸の途上よ待受け近傍の待合茶屋へ同君を無理無体よ誘引し幸平由次郎の兩人よて實は私共が日吉町の秋山儀右衛門より金二万圓借用する約定にて既よ本日該金を受取る筈なれど債主の望みには[illegible]の名義ならねば貸渡し難しとの事ゆゑ[illegible]に付該金受取候上は二万圓の内より入用次第御用立申べく[illegible]調印をくださるべきやと兩人が依頼するに同君も初めは許されたれど[illegible]者を以て終に調印を[illegible]受け金二千圓を借受遁て[illegible]へ參上し委細示談すべしと別れしが同君も兩人が擧動を不審よ思ひ終よ家令某へ此事を話されしに某氏は驚きて夫こそ兩人が詐僞術に陷入り給ひたるに相違なしと直ちよ輕罪裁判所檢事へ此旨告訴せられしが其筋にても本ゝ幸平由次郎を拘引せられんと夫々手配り有しが幸平は終よ拘留になりしも由次郎は早くも風を喰ひて逃去りしといふ

○下の關償金　我政府が曾て米政府へ拂ひたる下の關償金百八十萬弗は米國國務卿の保管する所となりしが國會議院にては其償金を我に返還するこそ相當あらんとの議論屢々起りすでよ昨年閉會の期に際し上院の方は之を返すべしとの事に議決したれども下院の可決を得るの間合なくして其儘となりたりしが昨今コネチカット州のナサニエルス氏は華盛頓よわりて頻りよ議員を説き本年の國會にては是非返還の事よ可決せしめんと專ら盡力中の由

○惡病の傳染　去る十日發行と題して發記しある岡山縣士族高瀬清一郎は追々一派の行法を布教しるしとて頻りと盡力中此頃よなりしは本橋區瀬戸物町十五番地西洋酒店岩倉德太郎（卅五年）妻まつ（卅一年）養子角治（廿年）の三人よて舶來の品を商ふ物より何氣なく生來多病なるより種々の迷ひを起し斯く家内なるくゝ病氣よて藥の絶る事なきは畢竟神の祟りならんと假よ神棚を掃除し神酒供物など供ぐる話しをきゝ彼の高瀬清一郎先生は爰ぞと思ひ德太郎よ面會を辨に任して敬神の道を解き兼て貯へし天照大神八幡大神春日大神三社の神號を認めたる一軸を掛け朝夕信仰怠らされば病難必らず立去るへしと架空の說を湝太郎も與實と心得夫が夢中にあつて祈りしが其功驗にてわりしか四五日前より妻まつは發狂の体にて家内を暴廻り我こそ日本の狸よ非す唐土の狸なりとる杯と騒ぎ狂ひ始めしが瞬息間に淸太郎角治よも傳染し兩人は上下を着し紋付の衣類を着て店先よ据りゐるなど實よ笑しき事限りなし親類の者も打寄りて相談し先妻まつは發狂病も余程烈しき質ゆゑ瘋癲病院へ入院させしが德太郎角治は漸々と正氣にあり只忙然として夢の覺たるが如くなりとて近頃馬鹿々々しき怪談ならずや

○猿賊難よ遭ふ　淺草區吉野町五十番地瀧口鎌吉は猿廻しを營業とし府下近在を廻りて一昨十五日午後八時頃東葛飾郡西小松川村字新町通りへ差懸りしが掛稻の際より突然短刀をもちたる大の男顯き出待て[illegible]くゝと呼留より鎌吉は刀物の光りよ吃驚しが乞食飼

樣の猿廻しを渡世[illegible]
り飼ひ猿をもあ[illegible]
負ひたる猿を渡せ[illegible]
此猿を奪はれては[illegible]
乾かんと彼[illegible]
は掛乞の如き惡[illegible]
吉が羽織を脱せ[illegible]
て逃失せしは[illegible]

○樺戸集治監　同[illegible]
相成りて其内三十名[illegible]
十名の出獄十五名[illegible]
る廿四日頃出發[illegible]

○多勢の窃盜　[illegible]
町一番地の勸[illegible]
守人は疾くよ之を[illegible]
他の三人は孰れへ[illegible]
より該場貨物運搬[illegible]
夫より探索中なりと[illegible]

○代言人試驗　來[illegible]
を開くるゝ由

○失火　一昨十五[illegible]
番地戸張庄之助方[illegible]
昨十六日午前四時[illegible]
丸山金藏方より出[illegible]
火も但是は怪火な[illegible]

○警視二局扣所[illegible]
れわりて不便につ[illegible]
傍へ設くることよ[illegible]

○帆前船田村丸　本月上旬肥前國唐[illegible]
億今よ若港あきい[illegible]
やと本社より此程[illegible]

○鹿兒嶋舊藩士の[illegible]
を傳承するよ先年[illegible]
せられたる金祿公[illegible]
よしく其内一割利[illegible]
の分五百万圓あり[illegible]
たる金祿公債の總[illegible]
保けものあるを況ん[illegible]
他藩よ其比を見ざ[illegible]
同藩よてと古來士[illegible]
渡し證書よ其地方[illegible]
を爲すこと能はざ[illegible]
流下賜せられたる[illegible]